

# インフラ整備70年 講演会(第48回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

## 伊勢湾岸自動車道の建設

新たな橋梁技術を駆使して名古屋港を横断し新東名と新名神を連結する

### <講演内容>

1. 計画・建設の経緯
2. 特徴的な橋梁
3. 名港トリトン
4. 名港西大橋の施工
5. 豊田アローズブリッジ
6. トウインクル
7. 他の主な橋梁
8. 整備効果・開通後の課題と対応

### <講演者>

- 川人 達男 (元日本道路公団静岡建設局長)  
池田 博之 (元日本道路公団中部支社構造技術課長)  
池田 光次 (中日本高速道路(株)執行役員名古屋支社長)  
前川 利聡 (中日本高速道路(株)経営企画部長)  
上東 泰 (中日本高速道路(株)高度技術推進部専門主幹)  
田中 健治 (元(株)IHI設計部長)

### <コーディネーター>

- 鈴木 辰夫 (鉄建建設(株)常務執行役員)



名港トリトン(上)・豊田アローズブリッジ(中)・トウインクル(下)  
写真提供 NEXCO中日本

2024年 2月27日 (火)

講演会: 15:00~17:00 (入室開始予定: 14:40~)

場所: ZOOMウェビナーによるWEB配信

定員: 1,000名

当初は伊勢湾岸工業地帯の物流の効率化のため、渋滞する名四国道のバイパスとして計画され、まず、世界最大級のスパンを持つマルチケーブルの斜張橋で名港西大橋が建設された。耐風性・耐震性の検討に加え、世界で初めて確認された降雨時のケーブル振動への対処等は、その後に活かされていく。次に、名古屋港を横断する2橋が同様の形式で建設され、3橋で名港トリトンと命名される。第二東名・名神高速道路が計画されると、これらを最短で連結する高速道路ネットワークとして位置づけられ、名古屋二環、東海環状とも接続し、名古屋環状道路の一部にもなる。木曽三川を横過する湾岸木曽川橋、湾岸揖斐川橋は世界初のPC・鋼複合エクストラード橋形式で建設されてトウインクルと命名され、また、矢作川を横過する豊田アローズブリッジは、世界初の波形鋼板ウェブPC箱桁斜張橋形式で建設された。技術者が、美しさと合理性を追求して新たな橋梁形式へ挑戦した記録を中心に紹介する。

(本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております)

主催: (一社) 建設コンサルタンツ協会

後援: (公社) 土木学会



伊勢湾岸自動車道の建設

新たな橋梁技術を駆使して名古屋港を横断し新東名と新名神を連結する

《講演者略歴》

川人 達男	(元日本道路公団静岡建設局長)
池田 博之	(元日本道路公団中部支社構造技術課長)
池田 光次	(中日本高速道路(株)執行役員名古屋支社長)
前川 利聡	(中日本高速道路(株)経営企画部長)
上東 泰	(中日本高速道路(株)高度技術推進部専門主幹)
田中 健治	(元(株)IHI設計部長)

講演会 申し込み方法 (変更がありますのでご注意ください)

- 無料 (どなたでも申し込みできます)
- お申し込みは、協会HP (<https://www.icca.or.jp/infra70new/reserve/>) よりお願いします。

(注意事項)

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点でキャンセル待ちとしての受付となります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 定員内の申込者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の2日前までに送付させていただきます。
- キャンセル待ちの申込者には、講演当日15時時点で空きがある場合のみZOOM入室URL(事前登録用)を送付させていただきます。
- **講演会当日の15時以降は、定員内申込み・キャンセル待ち申込みのいずれの方も、定員を超えた時点で入室出来ません。**
- **受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください (複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います)**
- ご提供いただいた個人情報はインフラ整備70年講演会に関する案内のみに使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等をご遠慮頂きますようお願いいたします。

問合せ先 E-mail : [infra70@icca.or.jp](mailto:infra70@icca.or.jp)

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

\*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演記録及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の記録は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定> 第49回講演会 2024年3月8日(金) 講演会 16:00~18:00 意見交換会 18:00~19:00

テーマ: 「北陸新幹線」 - 整備新幹線プロジェクト第1弾! -

講演者: 藤田耕三 (鉄道・運輸機構 理事長)  
岡崎 準 (元鉄道・運輸機構 副理事長)  
西 真幸 (鉄道・運輸機構 新幹線部北陸新幹線課長)  
森田奈々 (北國新聞社 編集局次長)  
金山洋一 (富山大学 特別研究教授, 運輸総合研究所 主席研究員)  
家田 仁 (政策研究大学院大学 特別教授, 東京大学 名誉教授)

\* 会場参加とライブ配信のハイブリットにて行う予定です